

昭島の「学びの回遊」

LEARNING
LOOP
昭島市

つなぐ・広がる・見つける・育む



学びの回遊と拠点

広域の回遊



昭島市のつながりの拠点となる施設

基本的な考え方

様々な施設を一つの小学校の敷地の中に複合し、有機的につなげます。

お互いの活動を触発することで、昭島ならではの活動や交流を発信できる新たな「学び舎」をつくります。

この学び舎は、校庭に位置する「知の拠点＝図書館」を核として、「文化の拠点＝郷土資料室」、「学びの拠点＝既存校舎」「活動の拠点＝既存体育館」などを連携させ、新たな交流を生みだします。

この交流は、市民を育み、新たな出会いを見つけ、昭島の未来をつなぎ、広がる「学びの回遊」となります。

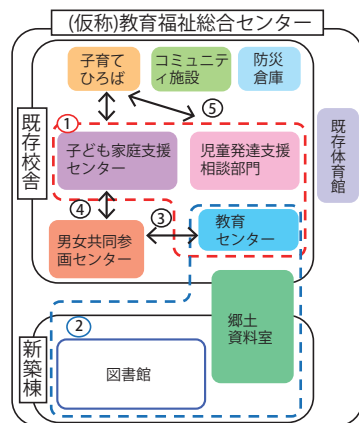
さらに、教育施設と児童福祉施設を集約することで、教育と福祉が一体となった継続的な支援が可能となり、同様の立場にある市民が集う機会を創出し新たな交流を生みだします。

昭島市北部には玉川上水や昭和の森など自然豊かな環境、南部には多摩川に沿った豊かな土地を活かした農地と住宅地が広がる地勢を有しています。その中心部に位置する本施設は、利便性の高い立地で、(仮称)教育福祉総合センターの方針である「つなぐ・広がる・見つける・育む」活動をより効果的に行うことが、可能になります。

より多くの市民に対して課題解決に向けた多様な情報やサービスを提供するために、市内の図書館ネットワークや近隣のKOTORIホール(昭島市民会館)・公民館との連携を促進させ、複合施設ならではの相乗効果を発揮し、市内の様々な地域資源・情報コンテンツをつなぐ「文化の回遊」の拠点をつくります。

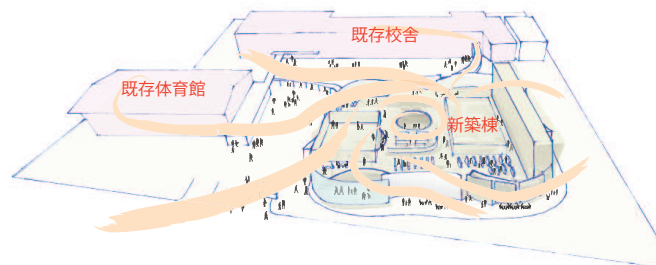
各部門の連携による新たに生まれる学び・支援の共有

- ① 各課の相談窓口を一本化することで教育と福祉が一体となった継続的な支援が可能になります。
- ② 図書館、教育センター、郷土資料室の連携により、書籍と実物を同時に活用した教育の場を創出することが可能になります。
- ③ 教育センターと、男女共同参画センターの連携により、同様の立場にある親が集う機会を提供することが可能になります。
- ④ 子ども家庭支援センターと、男女共同参画センターの連携により、子育てに悩みを持つ親が集い、話し合いなどを行う場を紹介することが可能になります。
- ⑤ 子育てひろばを通して、子どもや保護者へのくつろぎや交流の空間を提供しながら児童発達支援相談部門・子ども家庭支援センターへの連携を図ります。



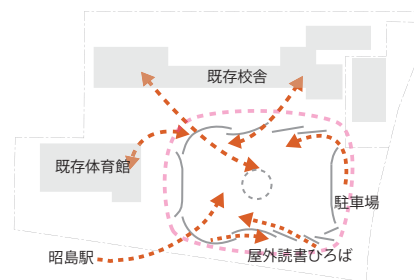
各機能連携イメージ

交流の渦



本計画の「校庭」があった場所に建つ新築棟は、「校庭」で生まれた「にぎわいや交流の記憶」を継承し、施設の核、地域の学びの拠点となり、既存校舎・体育館の活動を巻き込んで、交流の渦を巻き起こします。

施設同士の連携について



各棟との連携を促す、四周正面となる施設

「校庭」の特性を踏襲し、裏のない四周正面となるような施設を計画することで、隣接する建物同士との関係性を高め、多様な連携が可能になります。人の流れを連続させた壁に、隙間を設けることで、人々を(仮称)教育福祉総合センターに誘い、交差する動線が新たな交流をつくります。

新たな出会いを生み出す「つながり」

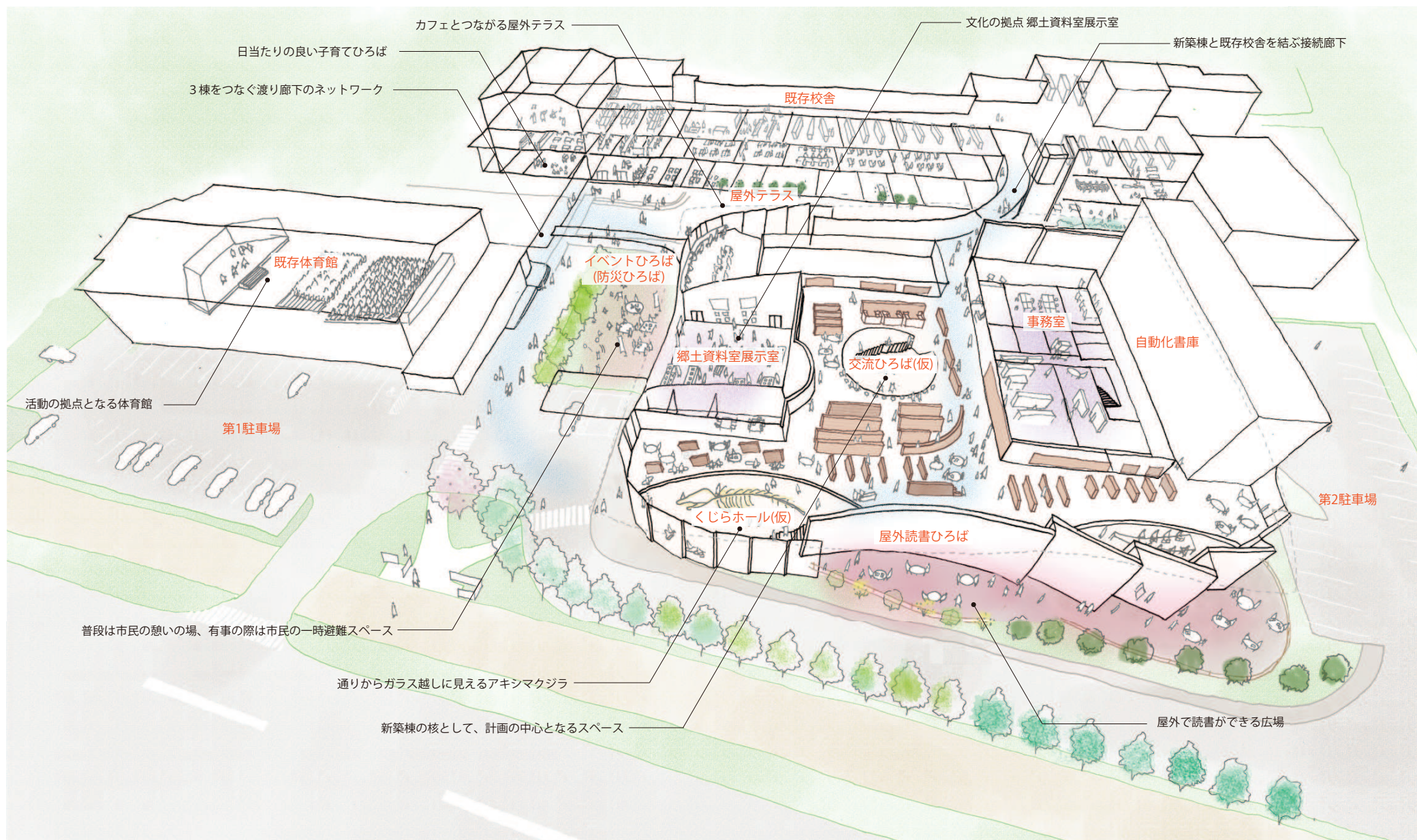
本敷地内は既存校舎や昭島駅からの動線を中心に、「つながり」を設計します。

各施設を往来できる庇と渡り廊下のネットワークを巡らせることで、施設間の行き来を容易にさせます。施設毎の特性を持った「つながり」は新たな出会いを促します。教育のつながりは、各棟との連携を高め、図書や郷土資料が新たな「学び」を生み出します。市民のつながりは、市民ギャラリーが市民の発表の場となり市民同士の交流を生み出します。読書のつながりは、屋内外の読書体験を提供します。歴史・文化のつながりは、アキシマクジラから企画展示スペースまで、昭島の歴史・文化について知識を提供することで、昭島との出会いを生み出します。

交流の「ひろば」をつくる

既存施設の外壁と並行に壁を設けるのではなく、各所にふくらみを設けた外壁は、室内外に「ひろば」を生みだします。室内と屋外の「ひろば」を一続きに配置することで、敷地内の各所で連携と交流の輪が生まれます。屋外テラスでは、既存校舎及びカフェ、市民ギャラリーと連携したイベントが可能になります。イベントひろば(防災ひろば)は、普段は利用者の憩いのひろばになり、隣接した郷土資料室との連携も可能です。有事の際は市民の一時避難スペースになります。

新築棟を施設の核・地域の学びの拠点とし、既存校舎・既存体育館の活動を巻き込んで交流の渦を巻き起こします。



市民ワークショップ

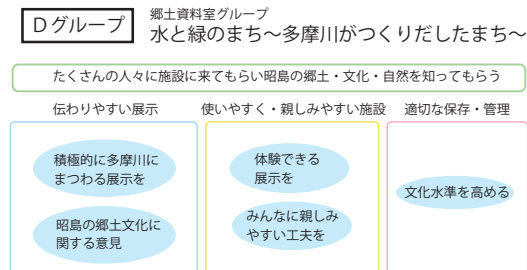
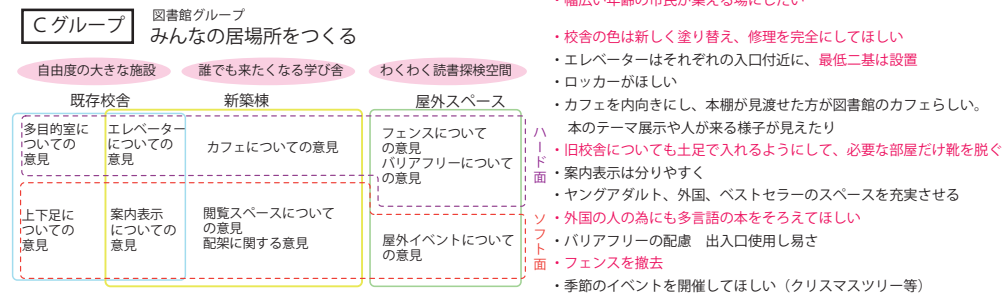
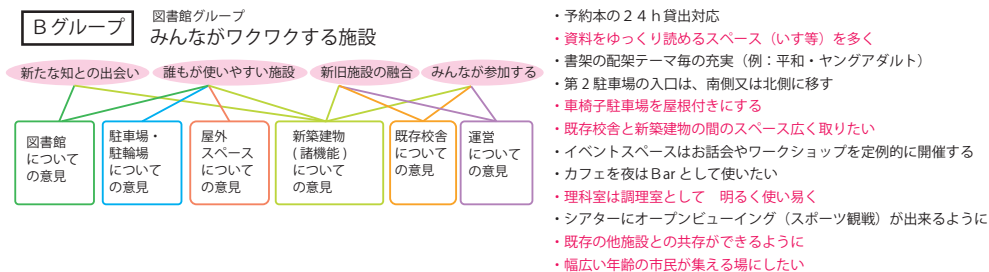
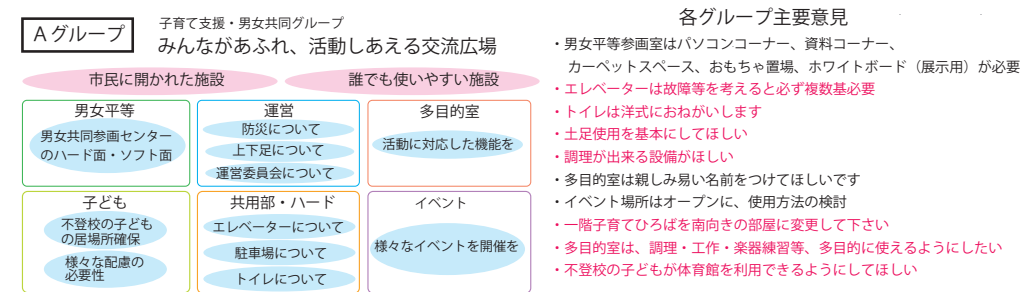
本施設に関心を持つ市民の皆様の「生の声」を設計に反映させる為に市民参加ワークショップを3回開催しました。

第1回 開催日時：平成27年12月20日13時～16時 場所：あいばっく 講習室

第2回 開催日時：平成28年1月9日13時～15時30分 場所：市立つつじが丘南小学校

第3回 開催日時：平成28年1月23日13時～15時30分 場所：市役所市民ホール

ワークショップでは市民に興味のある分野毎にグループ分けを行い各グループで進捗を行いました。以下、各グループの意見まとめ、主な意見です。**既に、本計画に取り入れた意見を赤で示しました。**



子どもワークショップ

開催日時：平成28年1月26日10時35分～11時20分

場所：市立つつじが丘南小学校(第二音楽室)

対象：つつじが丘南小学校5年生

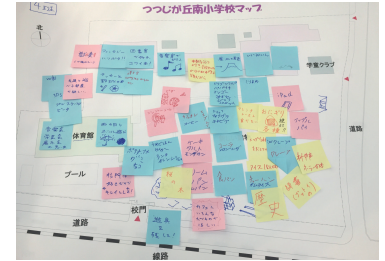
班毎に話し合いをして、「つつじが丘南小学校マップ」を作成してもらいました。

質問：

- 小学校で1番好ききところ（思い出や理由も）
- どんな図書館だったら行きたいと思いますか？
- どんなイベントだったら参加してみたいと思いますか？

主要意見：

- つつじが丘南小学校の校歌と校章（マーク）を残したい
- 外の池を残したい
- 南小の給食をカフェのメニューに含めてほしい
- ゲーム大会を開いてほしい
- カフェをバイキングにしたい
- 教室のイス・机・黒板・プレートを残してほしい
- 桜の木を残してほしい
- 学校の校歌を残してほしい



「つつじが丘南小学校マップ」



ワークショップ風景

市民説明会

市民説明会第1回 開催日：平成28年3月26日 場所：市役所市民ホール

市民説明会第2回 開催日：平成28年4月12日 場所：旧つつじが丘南小学校 体育館

主要意見：

- 子育てや交流が大事なものは理解するが、高齢者への配慮はどのように考えているか。
- 高齢者世代がボランティア等で子どもたちと交流できるような機能があればいいと考える
- 多目的トイレは各フロアに設置をお願いしたい。

意見に対して、以下のように整理します。

本計画では、高齢者福祉に特化した施設は含みませんが、現在も高齢者世代の図書館の利用が多いので、施策等を検討します。

パブリックコメント

パブリックコメント募集期間：平成28年4月1日～5月2日

主要意見：

- 既存音楽室の平日昼間の一般への開放を。
- 新築棟について、表示の工夫を重点にお願いしたい。
- 既存校舎図書室の形を活かし、不登校の子ども達のための居場所として使用できるようにしてください。

意見に対して、以下のように整理します。

既存校舎にも一般開放を検討している部屋もあり、様々な施設が複合されている本計画では、意見にもありましたように、あらゆる世代の来館が予想されるので、今後、運営面の検討と施設内のユニバーサルデザインについて詳細に検討を行い、利用者にやさしい施設計画とします。

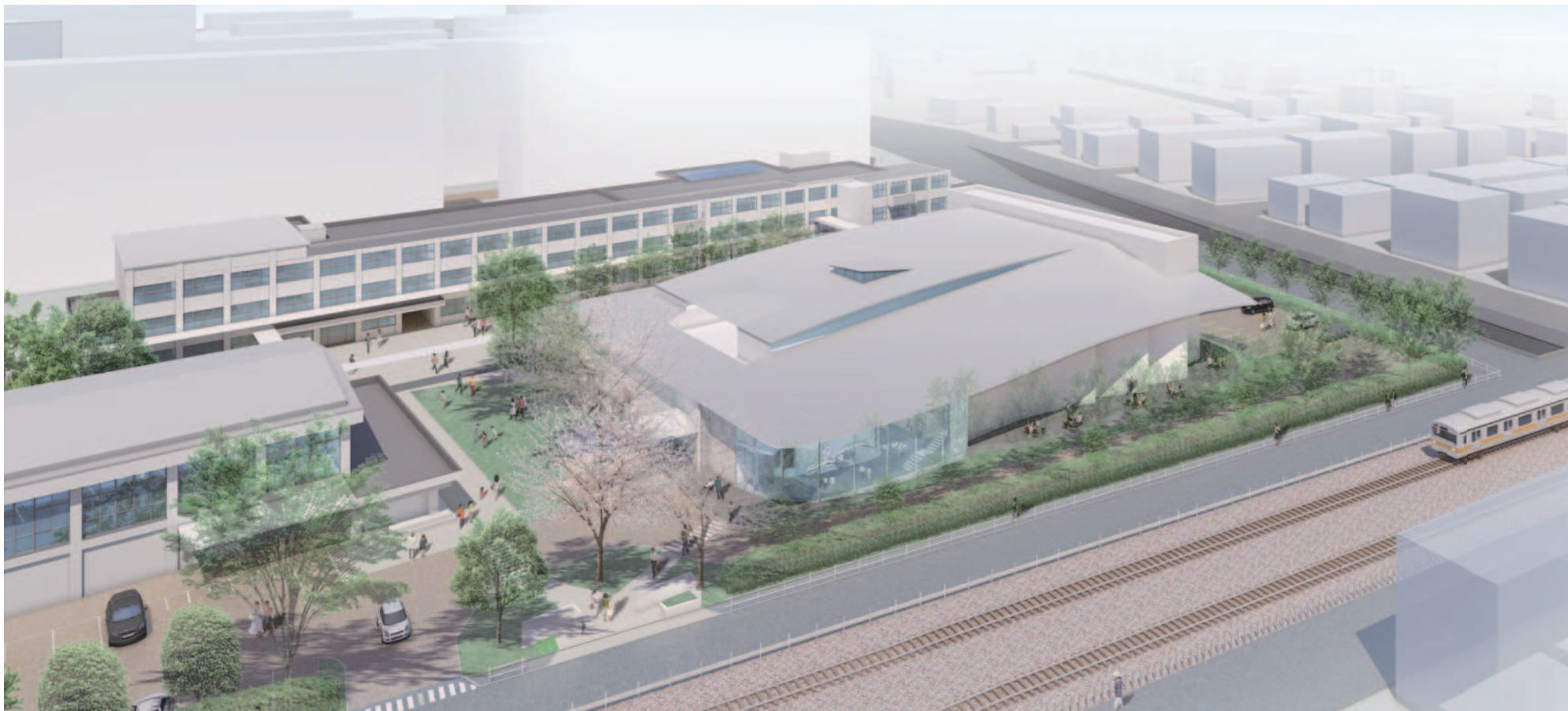
その他、多数、体育館についての意見がありましたので、以下に示します。

体育館についての主要意見：

- 昭島市には、響の良い高低差の有る客席の小ホールがありません。既存体育館を質の良い小ホールにしたいと思っています。
- 地域の子ども達がバスケが出来るように、市内で使える体育館を残してほしいです。

意見に対して、体育館について以下のように整理します。

既存の体育館は、教育センターに通う児童生徒の軽運動や発表、また研修会など多彩に利用できるよう改修します。体育館としての利用を想定しており、小ホールとはなりません。音響設備、高低差のある可動式客席、冷暖房設備等を設置する予定です。空き時間には、市民の活動の場としても活用できるよう検討しています。



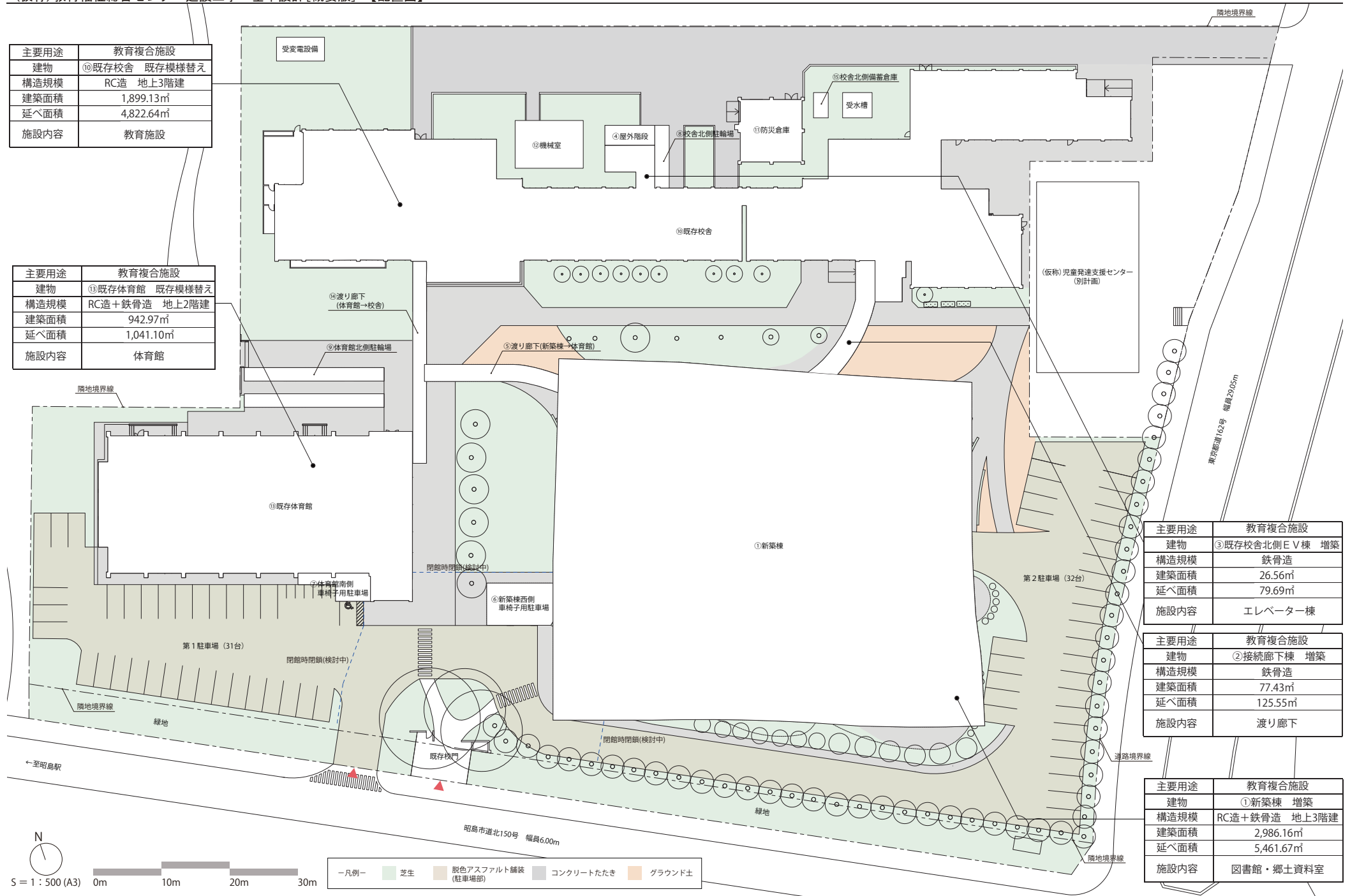




(仮称)教育福祉総合センター建設工事 基本設計[概要版] 【配置図】

主要用途	教育複合施設
建物	⑩既存校舎 既存模様替え
構造規模	RC造 地上3階建
建築面積	1,899.13㎡
延べ面積	4,822.64㎡
施設内容	教育施設

主要用途	教育複合施設
建物	③既存体育館 既存模様替え
構造規模	RC造+鉄骨造 地上2階建
建築面積	942.97㎡
延べ面積	1,041.10㎡
施設内容	体育館

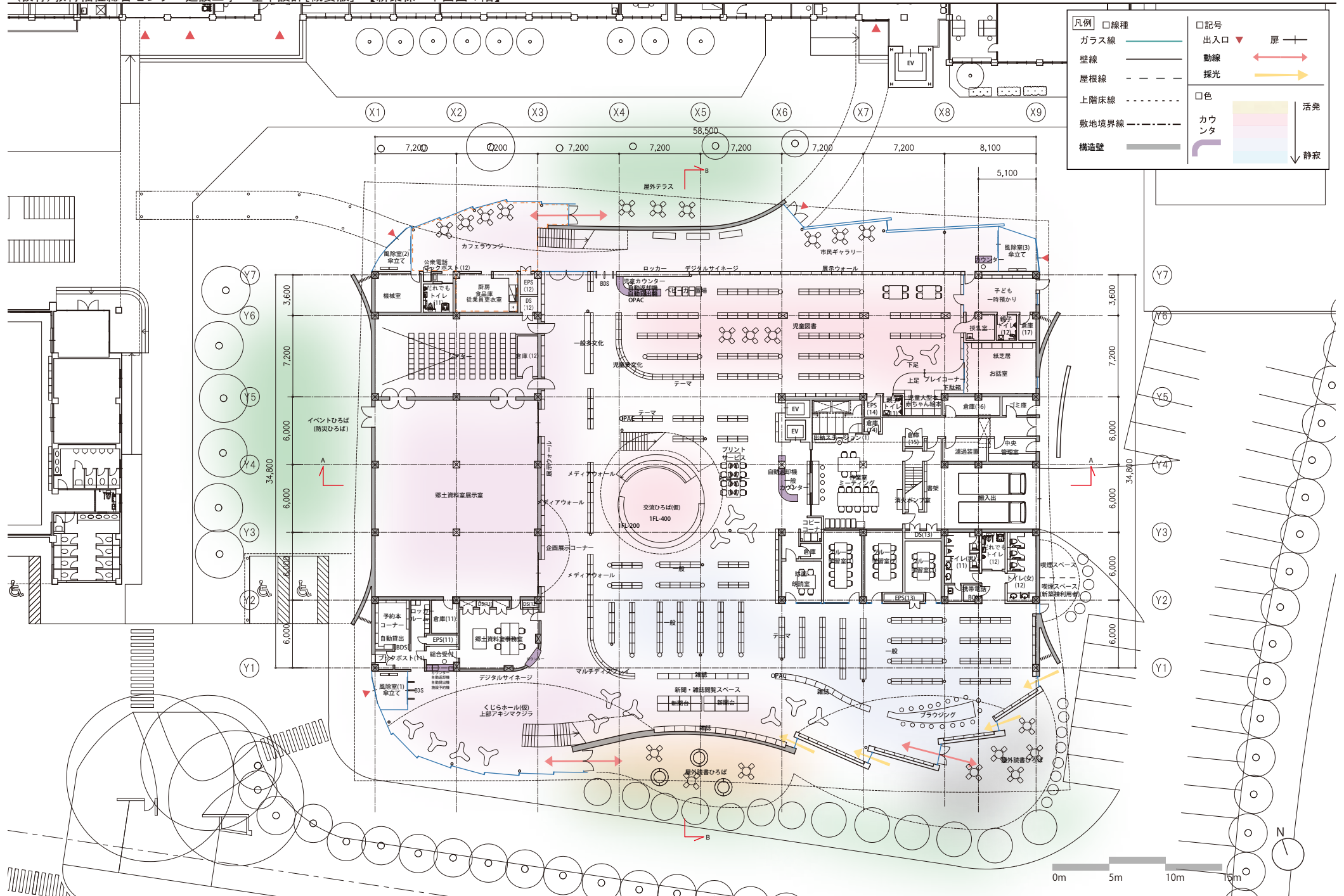


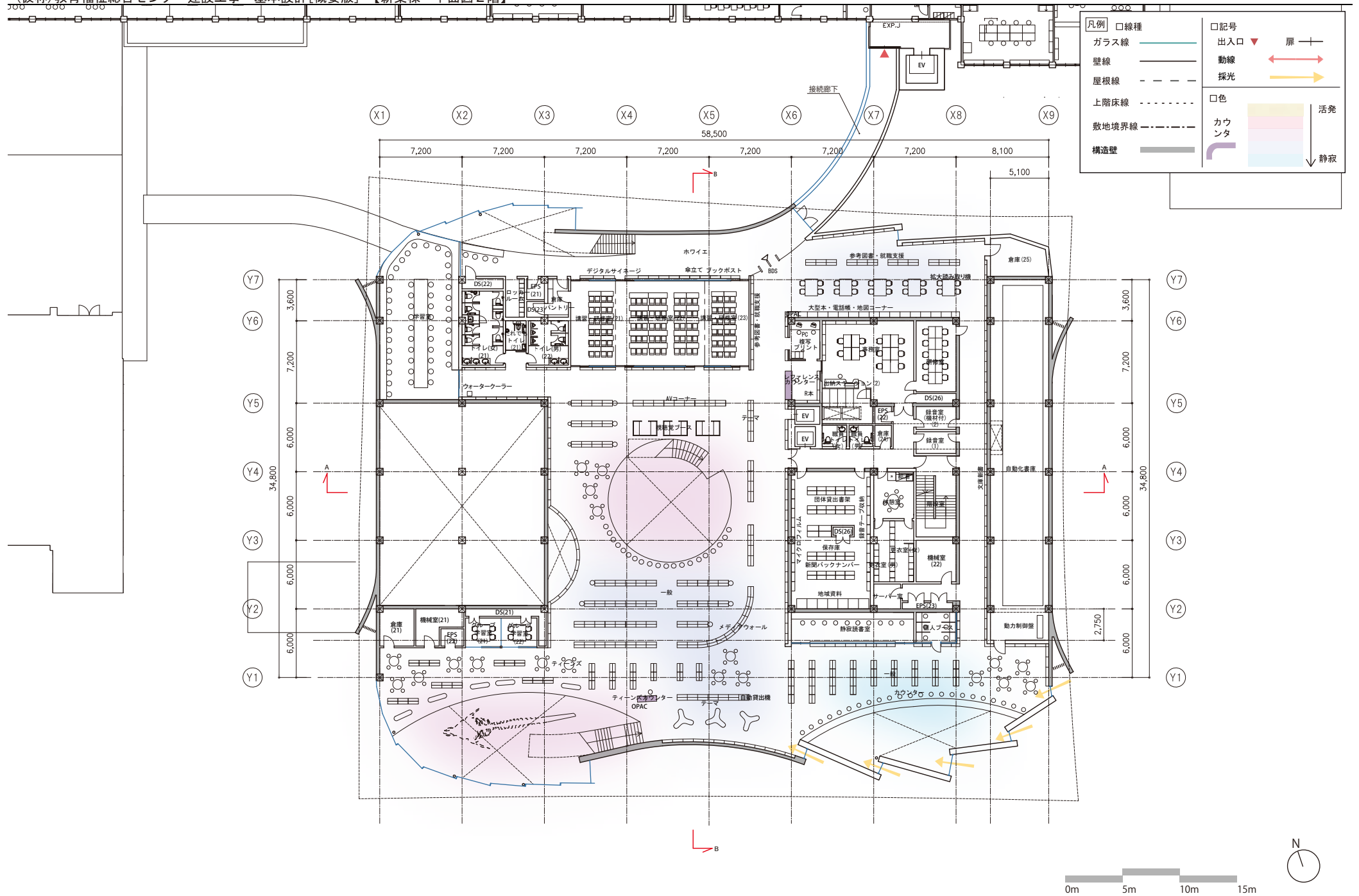
主要用途	教育複合施設
建物	③既存校舎北側E V 棟 増築
構造規模	鉄骨造
建築面積	26.56㎡
延べ面積	79.69㎡
施設内容	エレベーター棟

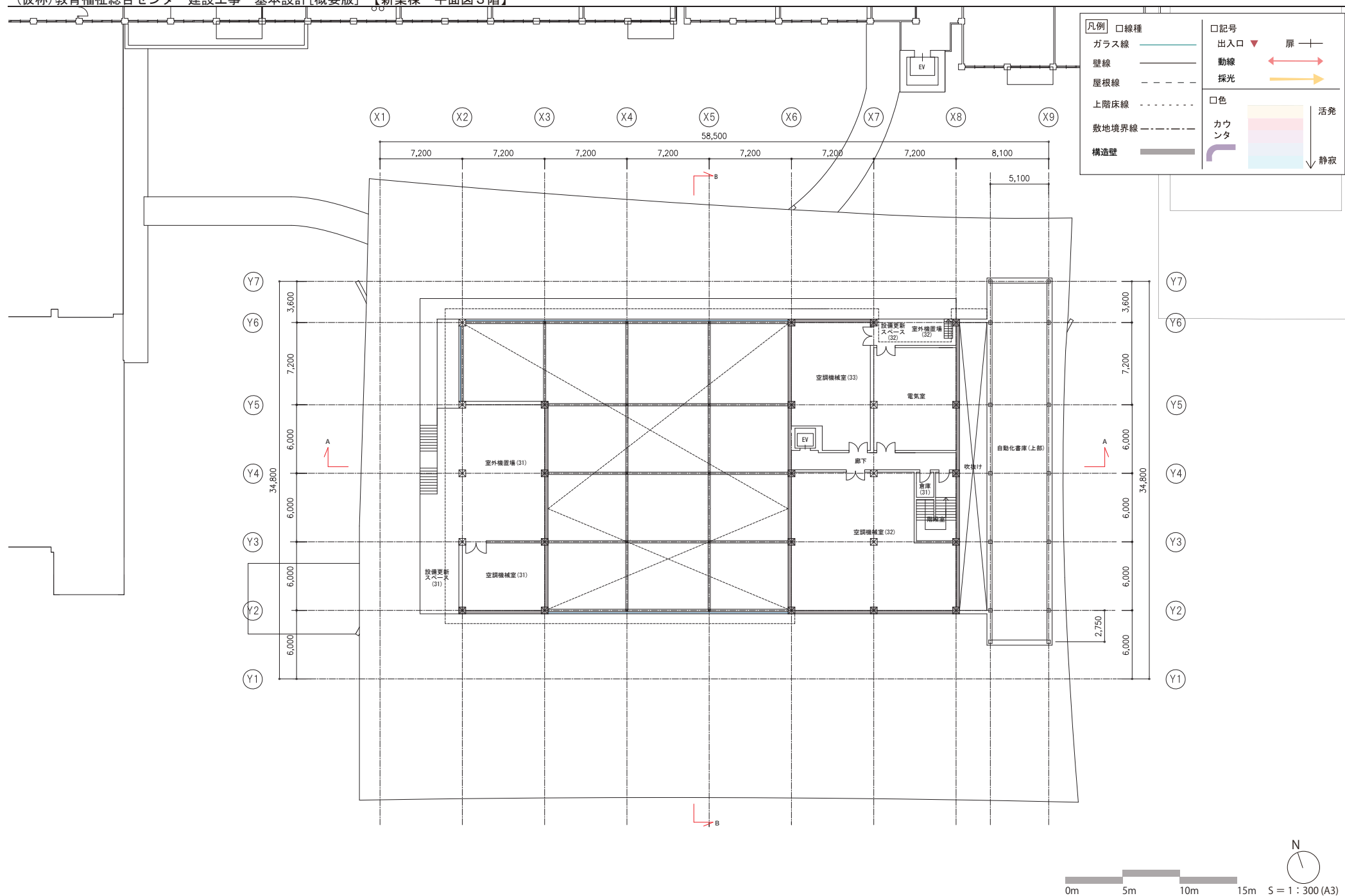
主要用途	教育複合施設
建物	②接統廊下棟 増築
構造規模	鉄骨造
建築面積	77.43㎡
延べ面積	125.55㎡
施設内容	渡り廊下

主要用途	教育複合施設
建物	①新築棟 増築
構造規模	RC造+鉄骨造 地上3階建
建築面積	2,986.16㎡
延べ面積	5,461.67㎡
施設内容	図書館・郷土資料室

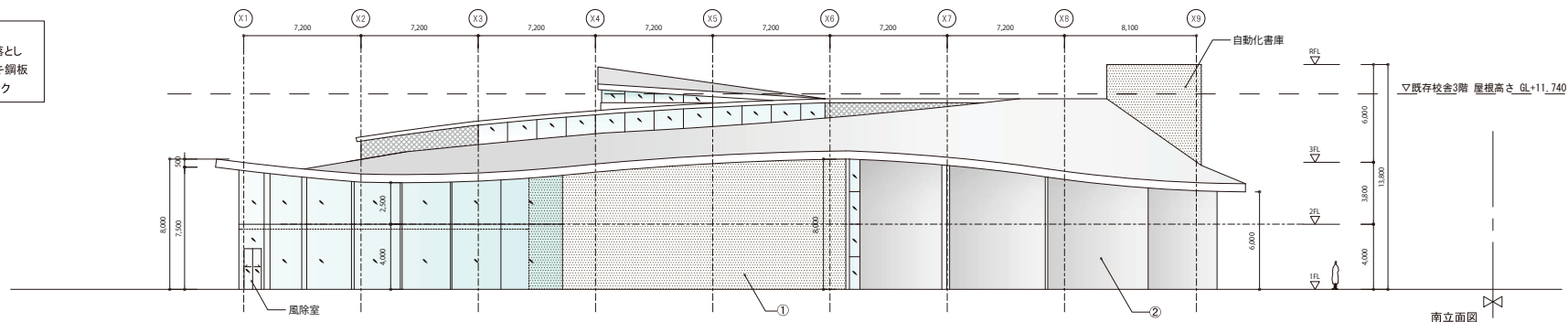
(仮称)教育福祉総合センター建設工事 基本設計[概要版] 【新築棟 平面図1階】



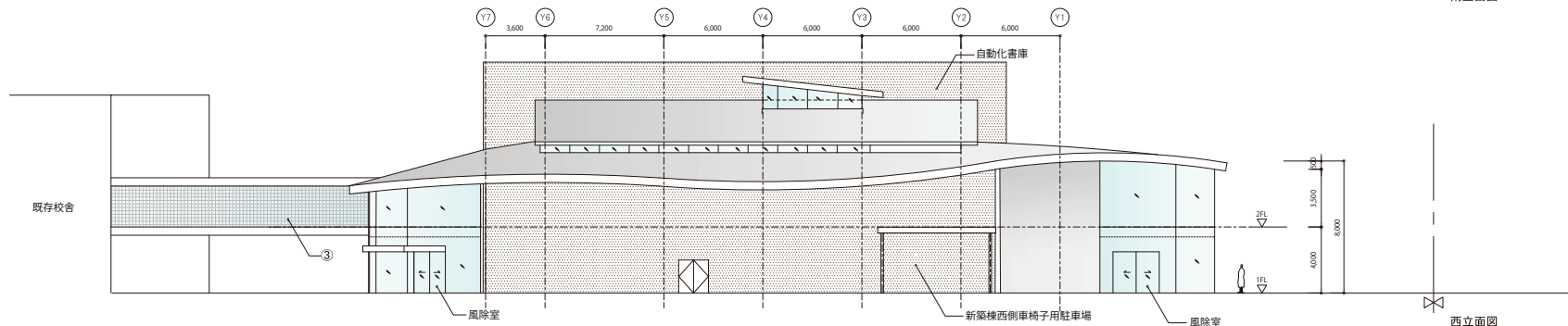




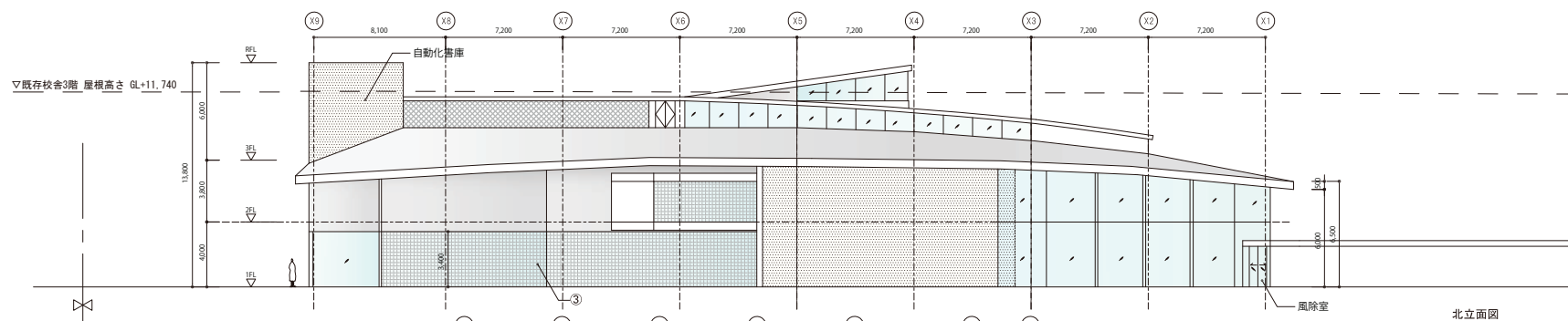
- 凡例
 ①リシン掻き落とし
 ②高耐食メッキ鋼板
 ③ガラスブロック



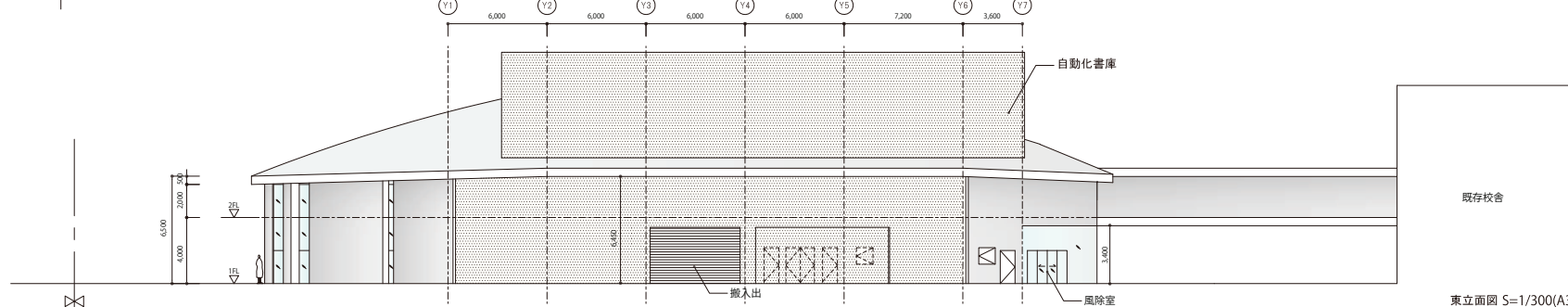
南立面図



西立面図

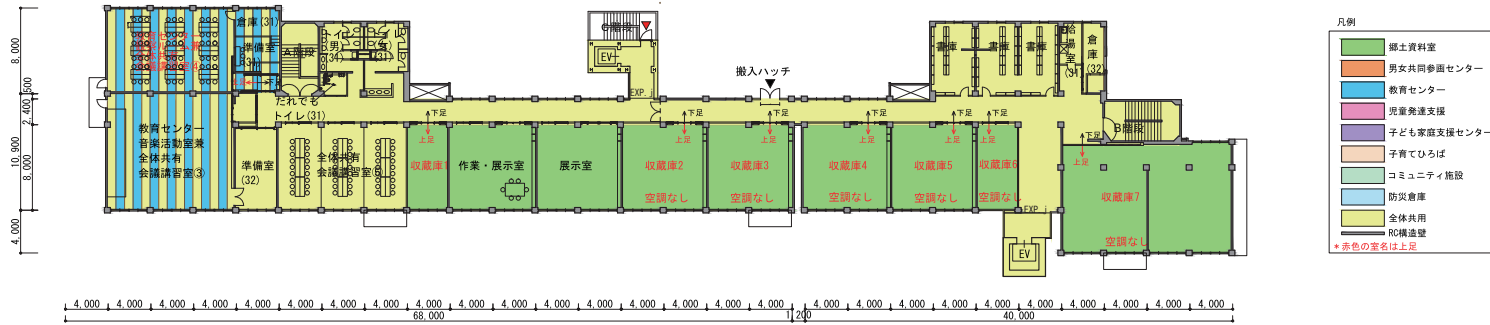


北立面図

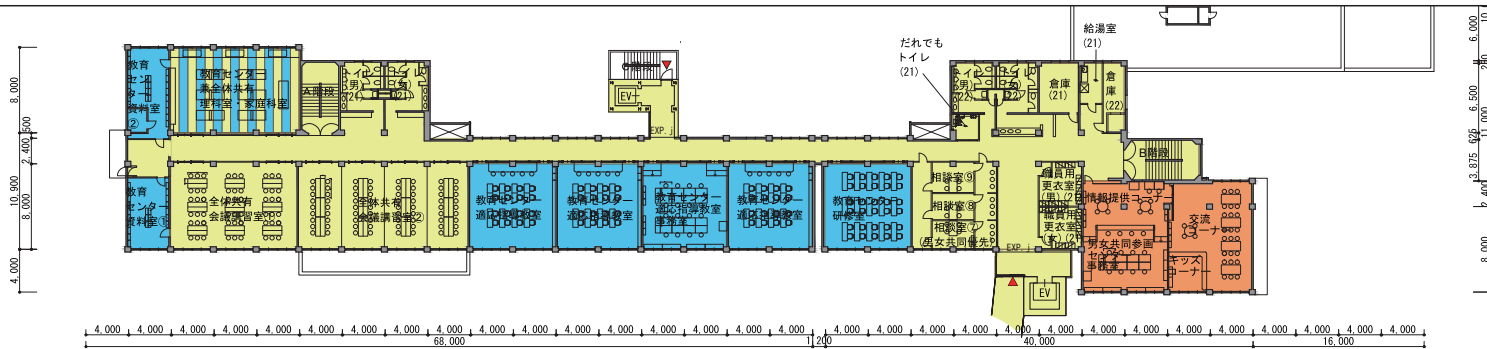


東立面図 S=1/300(A3)

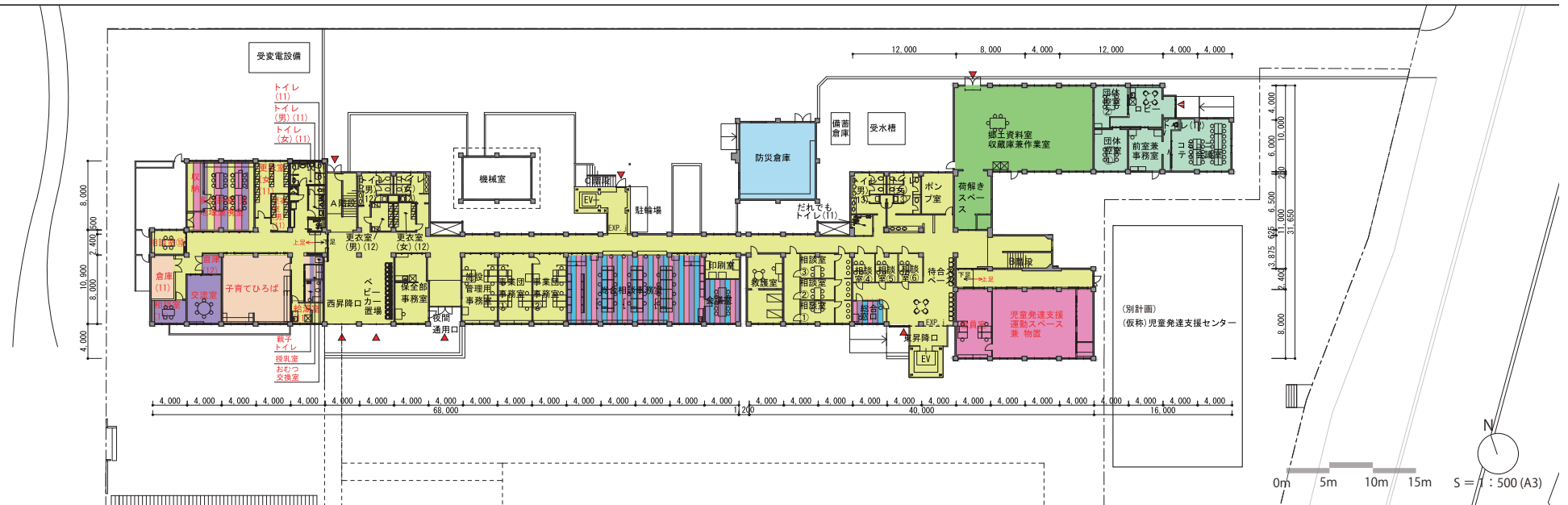
【3階】



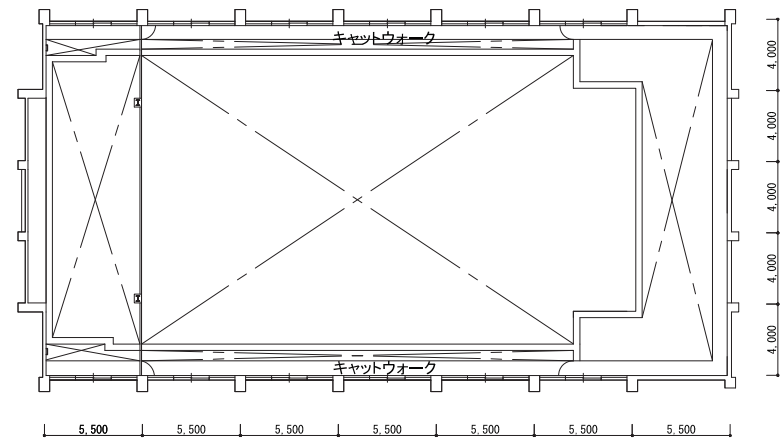
【2階】



【1階】



【2階】



【1階】

